

消費税がなくなったら

玉野市立八浜中学校 1 年 平藤 正堂

もう少しで夏休みだとワクワクしていたころ、七月二十日に行われる参議院議員選挙に向けて政治家たちの声がテレビから聞こえてきた。どの政治家もたくさんのマイクを握って力強く演説しているが、

「消費税減税で国民の暮らしを守る！」

と言っているのをよく見た。ぼくは、税金がぼくたちの暮らしを守っていると習ったのにおかしいなと疑問に思った。

調べてみると、やっぱり税金は公共サービスや医療、福祉などに使われていて、ぼくたちの暮らしを守ったり豊かにしたりするために必要なものだ。税金の中でも、消費税は買い物をするすべての人が必ず納める公平な税だ。むしろ、資金の確保のために過去に何度か税率が上がっている。消費税の税率を下げると、今の暮らしは維持できなくなるのではないだろうか。

選挙で政治家たちが言っていた消費税の減税は物価高への対策らしい。確かに、ぼくの好きなお菓子も二倍ぐらい高くなっているので、消費税がかからないとうれしい。五%割引の日のスーパーが混雑すると母から聞くので、消費税が減税になったらみんなも助かると思う。でも、ぼくは道路が陥没してトラックが落ちて運転手が亡くなったニュースが忘れられない。水道管が老朽化しているので、同じようなことは全国どこでも起こり得るらしい。ぼくは不安に思いつながら道路を通りたくない。それと同じで、犯罪に怯えながら暮らしたくないし、病気になった時や災害が起こった時に余計に不安になりたくない。税金はぼくたちが安心安全に暮らせるように、たくさんの面から支えている。だから、消費税のない社会と安心安全に暮らせる社会なら、ぼくは安心安全に暮らせる社会がいい。物価高への対策は消費税の減税ではないことで政治家たちにお願いしたい。

デンマークの消費税は二十五%もあるが、教育費は幼稚園から大学まで無料で、病院も無料だ。国民の幸福度も高いらしい。これは高い税金でも払っていることが意味のあることだと理解できているからだと思う。ぼくが働くようになって消費税以外の税金も納めるようになったら、国の財政が苦しいからと言われるより、国民の安心安全で豊かな生活を保障するためと言われたほうが、気持ち良く税金を納められるだろう。同じ税金を払うなら不満に思うより納得して払うほうがいい。税について考えてみて、税は意味のあるものだと思えた。だから、税の仕組みを理解し、どんなことに税が使われているのか、正しく使われているのか関心を持っていきたいと思う。